

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

私は約10ヶ月のアメリカでの留学を無事に終えることができました。その10ヶ月の間で私はいろいろな壁にぶつかり、諸問題を解決することで学んできました。その中でも重要に思えることやこれから山梨を活性化させるためにも必要なことについて、私の留学経験を含めて話していきたいと思います。

アメリカで生活していて自分が一番足りなかったものは行動力でした。私たち日本の高校生は、行動力をさほど必要としません。先生に言われたからやってみる、困ったら答えを誰かに聞くなど、自分から進んで動く姿勢が見られなくなっています。成績が悪いと先生に心配され、勉強するよう促されます。しかし、アメリカではそうではありません。先生には心配されることはほぼありません。自分から言わない限り、先生から勉強方法を教えてくれることもありません。困って先生に尋ねても、答えをそのまま教えてはくれません。これは授業に関係のある問題の答えを聞いたことに限った話ではありません。個人的に悩んでいることでも、直接的な答えを言うてくれることは少ないです。大体は答えにつながるようなヒントを教えてくれます。そのヒントをたどって自分なりに答えを見つけ出すのが、アメリカにいたときに私がしていたことであり、それが自分にとっても将来的に見て役に立つスキルになるのだと思います。

このことを踏まえ、私はアメリカでの経験を生かして山梨を活性化させたいという想いがあります。それを行うためにはまず、自分の経験をほかの人に伝えることで留学に興味を持ってもらうためのアクションを起こしていく必要があります。また、大学に入ってから学びたいこと、自分がしたいことをするためには、人から言われた後にはしては遅く、自発的に動くことでなしえる可能性が高くなると私は考えています。行動力が問われるのは、就職先でも同じことであり、近い将来、ほぼすべての職業において、上司に言われたことだけをこなしているだけの人材は不要となっていくでしょう。今までの日本では大きな会社になればなるほど保守的な考えを持つようになり、うまくいっていた時代と同じように働いて会社を存続させていこうと考えているかもしれません。しかし、現在の日本の大企業を見てわかる通り、これでは衰退の道を歩むことが懸念されます。その状態を打破するためには新しいこと、すなわちイノベーションを起こす必要があると思います。イノベーションを起こすためには、今まで保守的になって以来、行ってこなかった新しいものへの挑戦というものが必然とついて回るでしょう。よって、今から社会人となる僕たち高校生には、新しいことに挑戦する勇気が必要になります。そのことに気付いている高校生は、さほどいないでしょう。次の世代である僕たちが挑戦する勇気を持てるようになれば、日本もより良い方向へと進むはずなのです。このことをわかってもらうためにも、私は自分の留学体験を含めて、自分がこう思っていることを山梨から日本へと伝えたいと私は考えています。これから、まず山梨県内の留学に興味がある人から集めていき、留学で何が得られるのかを具体的に伝えて行きたいと考えています。

留学で私が足りないと感じたものは、行動力だけではありませんでした。それは先を見通す力でした。私は今まで、ただ単に大学へ向けて勉強をしていました。しかし、よく考えてみれば、いい大学と呼ばれるところに入った後のことを何も考えていませんでした。このような、以前の私と同じような考えの人がたくさんいるのではないかと思います。私は留学中に会った現地の生徒や同じ留学生を見て、自分はいかに楽観した考えを持っているのだろうと気づきました。実際、日本ではいい大学と呼ばれるところに入ってさえしまえば、あとはどうにかなると小さいころから教え込まれていました。具体的に誰がそう教えたとかではなく社会全体からそのように感じ取れるのです。しかし、もういい大学を出れば何とかかなるという考えは、現代社会では通用しなくなっているのです。そもそも大学という場所は勉強をするところであるため、そこに入ってから何を勉強したいのかを決める必要があるのです。そして大学、大学院などで培った知識を利用して次に自分がしたい仕事につくというのが本来あるべき姿なのだ気づきました。しかしながら、今現在の日本の若者は、働くということにいい感情を抱いている人は少ないそうです。仕事とは大変であり、したくもないことをお金のためにするものと考えている人が、日本で働いている人の約50%を占めるそうです。この事実はとても悲しく、日本の将来が危うくなりかねません。私は仕事というものは、自分の人生の中での一種の生き甲斐であると考えています。仕事がつまらない、やりがいがないと考えるのではなく、自分の仕事の中から見つけることで、仕事への気持ちも変わり、それが結果へと繋がっていくと思います。また、私たち高校生は、今から就職をする上で自分がしたい仕事をできるよう考えを改め、努力する必要があると私は思っています。

このように、私は留学中に気付いたことは、これからの私の将来に役に立つものだと確信しており、このことに留学を通してほかの生徒や大人にも気付いてほしいと思っています。これは私が留学中に気付いたことであり、ほかの人は、また違うことに気付くかもしれません。そのように、日本の生徒が様々なたくさんの方に気づき、それを共有し拡散させることで私たちの明るい未来が開けると私は信じています。私の将来展望を大きく開いてくれた、このたびの「山梨県若者海外体験人材育成事業」に心から感謝し、皆様のご期待に添えますよう全力で精進してまいります。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書



本場アメリカでのハロウィン
ジャックオランタン作り



テニス部集合写真
ダブルス3として州大会進出



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書



#3414 Hack Bots Member

#3414 Hack Bots の一員
として世界大会へ出場



ホストファミリーの
親戚の結婚式

ホストマミーに日本のお菓子をあげている様子



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書



アメリカイーストコーストを
ともにまわった留学生たち

クリスマスツリー前で
ホストシスターたちと



帰国日前日にとった家族写真